

各位

今年で3回目を迎える「舞踏交流・海外ダンサーシリーズ Vol.3」の案内をさせていただきます。

これまで2回は、ヨーロッパからダンサーを招き、舞踏での交流を行ってきました。今年は、アジア地域のダンスを紹介することとなりました。

アート・センターでは、この6月に台湾・原住民の歌と踊りの公演「海への記憶」を共催しました。本シリーズでは、さらにアジア海域を南に下って、インドネシアのダンス・グループの魅力あふれる公演を実施します。

インドネシアの古典舞踊、古典舞踊をベースにしたコンテンポラリー、それに伝統的な仮面舞踊が加わります。

慶應義塾大学のノグチルームでの公演、そして近くの寺院、龍生院での公演となります。1月の「土方巽を語ることVI」でも龍生院での「密教護摩焚きと舞踏」の公演で好評でした。

あわせて、インドネシアの舞踊のワークショップを行います。

ダンサーたちは、しばしば来日して、数々のアジア・トライや越後妻有アート・トリエンナーレにも参加、出演するなど、日本の舞踏関係者との交流もさかんに行っています。

なお、出演者の一人、リアントさんの舞台を撮影した美しい映像をYouTubeで見ることができます。

Choy Ka Fai : SoftMachine – Riant

で検索してみてください。

さらに、舞踏に関連して2つのレクチャーを行います。

オーストリアと台湾から講師をお招きして、特有の視点から舞踏をめぐってお話をいただきます。

お忙しいなか、お繰り合わせいただき、お運びいただきますようお願い申し上げます。

2016年9月吉日

舞踏交流・海外ダンサーシリーズ実行委員会